

2025年度前期STARTプログラム コース一覧

※2025年4月現在の予定です。プログラム内容は予告なく変更する可能性があります。

プログラム名/ 研修先大学・機関	渡航期間/定員/ 参加費（＊注）	JASSO奨学金	主な研修内容（予定）	宿泊場所	研修先大学・機関の紹介	研修先地域・都市の紹介	単位数
【大学の世界展開カアジア】 「韓国で体験する異文化コミュニケーションと平和」 ／韓国外国語大学	8月2日（土） ～8月10日（日） 定員：6-10人 （1年生対象） 参加費：12万円	対象者：9万円支給	韓国外国語大学で、午前中は主に韓国人講師から韓国語を学び、午後は英語で韓国の近代の歴史、経済を学ぶとともに、校外学習で伝統文化やK-POPなどのコンテンツビジネスなどを現地の学生サポーターとともに学び、実際に韓国語会話も実践します。また、日本と韓国での平和に関する考え方の違いも学びます。 ※本コースは、 本学学生、受入校学生に加えて、中国・タイ・インドネシアの連携大学の学生も参加の予定です ◆韓国語講座（午前中）※講義は韓国語で実施 ◆韓国の伝統文化・現在の文化についての講義（午後）※講義は英語で実施 ◆キャンパス内及びソウル市内見学（過去はNタワー、旧大統領府などを訪問） ◆景福宮（キョンボックン）訪問、韓服（ハンbok）体験 ◆韓国観光広報館でK-POPや韓国ドラマなどのコンテンツビジネスを見学、体験 ◆韓国民俗村見学 ほか ※自己負担となりますが、 昼食は大学内の学食や見学先のショッピングモールなどで韓国料理を体験でき、習った韓国語を実践します。	（ソウル） 韓国外国語大学の寮もしくは大学近くのホテル	【韓国外国語大学】 https://hufsenglish.hufs.ac.kr/ 韓国外国語大学（Hufs）は韓国の外国語教育発祥の地であり、アジア、中東、主要地域の45言語が学べます。Hufsは男女共学で、18学部78学科で約17,000人の学生が在籍しています。また、Hufsは世界97カ国602大学と教育交流提携を結び、教育交流を行っています。外国語の理論と実践に重点を置くだけでなく、身につけた語学力を活かして、世界の政治、経済、社会、文化について学べるHufsの卒業生は、国際貿易や外交の分野などで重要な役割を果たしています。	【ソウル市】ソウル特別市は、人口は1000万人を超える大韓民国の首都。京畿地方に位置し、行政区25区からなるソウルは政治の中心であるだけでなく、経済、交通、文化、教育・学術面などにおいて韓国の中枢。都市圏人口は2604万人で世界5位。韓国全人口の約半数が居住し、人口密度は東京都の約3倍です。アジア最大級の都市であり、東京、ニューヨーク、ロサンゼルスに次ぐ世界4位の都市圏経済力を有しています。	1
「持続可能な開発と、地域の文化・自然環境との調和」 /アイダホ大学	8月6日（火） ～8月17日（土） 定員：30名 （1年生対象） 参加費：36万円	対象者：11万円支給	◆持続可能性と場所の感覚（Sense of Place）**について、文化的・地理的な視点から探。 ◆北アイダホの自然、歴史、地域社会について学ぶ。 ◆平和と環境をテーマにした「ピースガーデン」をキャンパス内に共同制作。 ◆日本と北米の視点から歴史的な経験（例：日本人強制収容所）に触れる。 ◆アイダホ大学モスクワキャンパス滞在中のフィールドワーク、アートワークショップ、キャンパスや地域の見学。 ◆4日間の野外学習（McCall Outdoor Science School）では、火災・水資源・エコロジーについての体験学習。 ◆Kooskia日本人強制収容所の訪問と歴史的考察。	キャンパス内のゲストハウス	【アイダホ大学】 https://www.uidaho.edu/ ワシントン州との州境近く、アイダホ州モスクワにある、1889年設立の州立大学。11,000人の学生がおり、自然豊かなキャンパスが特徴。自然資源・環境学、農業・生命科学の分野に強みがある。	【アイダホ州モスクワ】 アメリカ合衆国アイダホ州の北西部にあり、人口は約25,000人。ダウントOWNはコンバクトで歩きやすく、カフェや書店、オーガニック食材のマーケットなどが並ぶおしゃれなエリア。モスクワは小規模ながらも、知的で自然豊かな生活を楽しめる理想的な学びの町と言われている。	1
「持続可能な社会とオーストリア文化 ー世界遺産訪問や現地学生との交流を通してー」 ／グラーツ大学	9月6日（土） ～9月17日（水） 定員：15名 （1年生対象） 参加費：37万円	対象者：11万円支給	◆Sustainable Developmentに関する講義（現地学生とのディスカッション） ◆Wegener Center for Global and Climate Change視察 ◆ドイツ語講義 ◆JointDegreeプログラムに関する講義（広島大学とグラーツ大学にて学位を取得するプログラムの紹介） ◆科学技術に関する講義、視察（海水発電所） ◆Schloss Eggenberg（城）、モーツァルト生家、SCHÖNBRUNN PALACE（城）他多数の世界遺産訪問 ◆ハルシュタット訪問 詳細は、以下ファイルをご参照ください。（現時点での予定です） https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/Schedule_Hiroshima24%20%20UPDATE%20080324.pdf ※後日修正	3か所ホテル宿泊・ツインルーム利用予定 グラーツ： https://www.aohostels.com/en/graz/graz-hauptbahnhof/ ザルツブルク： https://gaestehaus-priesterseminar-salzburg.at/en/ ウィーン： https://www.hotel-bb.com/de/hotel/wien-hbf?gad_source=1&gclid=EAlaIQobChMluXF4dfmiwMVXqODBxZY9BnUEAAAYASAAEgLXPvD.BwE&gclidsrc=aw.ds	【グラーツ大学】 https://www.uni-graz.at/en/ オーストリアのグラーツ市に位置する歴史ある公立大学であり、1585年に設立され、オーストリアで最も古い大学の一つとして知られています。30,000人の学生がおり、特に人文・社会科学、自然科学、医学などの分野で、先進的な研究が行われています。	【グラーツ】 オーストリアで第二の規模を持つ都市で、特に、旧市街（Altstadt）はユネスコの世界遺産に登録されており、中世の城や教会、広場などが保存されています。音楽や映画、文学など、さまざまな文化イベントやフェスティバルが定期的に開催されています。 【ザルツブルク】 オーストリアの西部に位置する歴史的な都市で、世界的に有名な作曲家ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルトの生まれた場所として知られています。 【ウィーン】 オーストリアの首都および最大の都市であり、ローマ帝国、ハプスブルク家、オーストリア＝ハンガリー帝国など、数多くの歴史的な帝国や王朝の中心地として栄えました。美術館や美術ギャラリーが数多くあり、オーストリアやヨーロッパの美術史を代表するコレクションを保有しています。	1
【大学の世界展開カアジア】 「中国で体験するSDGs、教育、地理科学、歴史と異文化コミュニケーション」 ／北京師範大学	9月18日（木） ～9月26日（金） 定員：6-10人 （1年生対象） 参加費：19万円	対象者：8万円支給	中国の首都北京にある北京師範大学で、東アジアの教育、歴史や生活を学びます。受入学部が地理科学部であるため、地学・地理学・天文学など幅広い科学研究施設も見学の予定です。校外学習で景勝地を訪問するだけでなく、経済特区や古い町並みを訪問し、都市計画やSDGsも学びます。また、中国だけでなく、東南アジアの学生も参加予定で、東アジアだけでなく、東南アジアの考え方の違いも学びます。 ※本コースは、 本学学生、受入校学生に加えて、タイ・インドネシアの連携大学の学生も参加の予定です ◆日中の教育の違いについての講義 ※講義は英語で実施（中国語を英語通訳の場合もあります） ◆地理科学部の学内施設訪問 ◆官庁街、経済特区や都市計画ミュージアム訪問 ◆北京最古の街並み見学や中国の食文化体験 ◆紫禁城、万里の長城、頤和園などの見学（2023年度は頤和園） ◆企業見学 などを用意	大学近くのホテル	【北京師範大学】 https://english.bnu.edu.cn/ 1902年創立の公立大学。北京校は2004年の在校学生2万人余り、内本科生（学部学生）8,300人、研究生（大学院生）8,800人、長期留学生1,500人が在籍しています。19学院と6系（いずれも学部）、14研究所を有し、北京大学、清華大学、中国人民大学ともに北京四大大学と称されています。卒業生にはノーベル賞受賞者2名がいます。地理学院が受入れ先となっています。	【北京市】中華人民共和国の首都。人口は2188.6万（2021年）。アジア屈指の世界都市で、中国の政治の中枢。上海と並ぶ経済・学術・文化の中心地でもあります。市南部以外は山に囲まれていて全市域の約62%を山地が占めており、北京の最高峰東壘山には万里の長城が延々と続いています。北京市街地はこうした山岳地域に囲まれた盆地の中にあります。	1

（＊注）参加費には国内交通費を含みません。参加費のほかに、自己負担費用として、海外旅行保険料（大学指定のものに加入必須）、パスポート申請費、査証手配代、現地交通費、お小遣い（食費含む）などがかります。

2025年度前期START+プログラム コース一覧

※2025年4月現在の予定です。プログラム内容は予告なく変更する可能性があります。

プログラム名/ 研修先大学・機関	渡航期間/定員/ 参加費（＊注）	JASSO奨学金	主な研修内容（予定）	宿泊場所	研修先大学・機関の紹介	研修先地域・都市の紹介	単位数
「世界の半導体と、移動する民。世界を旅する客家文化ー世界を動かす半導体技術と世界的ネットワークを築いた客家文化を台湾で学ぶー」 ／国立中央大学	9月1日（月） ～9月16日（火） 定員：30人 （2～4年生対象） 参加費：13万円	対象者：8万円支給	◆半導体に関する講義 ◆TSMC(半導体製造企業)視察 ◆放射光に関する講義 ◆NSRRRC(国立放射光研究センター)視察 ◆現地学生との交流・エクスカーション ◆中国語、文化に関する講義 ◆客家文化に関する講義 ◆九份、南雅奇石、故宮、夜市等へエクスカーション　ほか	大学内のゲストハウス	【中央大学】 https://www.ncu.edu.tw/en/index.php 台湾の桃園市に位置する国立の総合大学です。1915年に南京に設立され1962年に台湾に移転しました。特に、理工学、宇宙科学、地球科学、経営学などの分野で高い評価を受けています。12,000名の学生がおり、8つのcollege、26学部、19大学院を有しています。	【新竹市】 台湾の北部に位置する都市で、台湾を代表する大学が多くキャンパスを構える教育の中心地です。また、IT関連の工場や企業が集中しているため、「台湾のシリコンバレー」と呼ばれています。 【桃園市】 台湾の北部に位置する都市で、台北市の南西に隣接しています。桃園市は台湾の主要な交通ハブとして知られ、桃園国際空港(台北桃園国際空港)が所在することで国際的なゲートウェイとしての役割を果たしています。	2
「農業と一村一品運動ー現地でのフィールドワーク、農村ステイを通してー」 ／タイグエン農林大学	9月9日（火） ～9月25日（木） 定員：30人 （2～4年生対象） 参加費：18万円	対象者：9万円支給	◆農業、生物に関する講義 ◆タイグエンで有名なお茶工場を視察し、一村一品運動を学習 ◆農村ステイにて、茶の収穫、米の収穫、野菜の植え付け等を体験 ◆湖でクルーズ ◆現地学生との交流・エクスカーション ◆ハノイでのエクスカーション	ホテル及び農村ステイ	【タイグエン農林大学】 ベトナム北部のタイグエン市に位置する、農林業に特化した総合大学です。農業、林業、環境管理、農村開発などの分野で教育・研究を行っており、特にベトナム中部および北部の山岳地域の発展に貢献しています。	【タイグエン市】 ベトナム有数の工業都市で、近年は韓国・サムスンをはじめとする外資系企業の進出により、電子機器製造が盛ん。	2

（＊注）参加費には国内交通費を含みません。参加費のほかに、自己負担費用として、海外旅行保険料(大学指定のものに加入必須)、パスポート申請費、現地交通費、お小遣い(食費含む)などがかかります。